

# 「『21世紀型消費者政策』の成果と残された課題」

2003年に今後の消費者政策のグランドデザインとして、内閣府・国民生活審議会にてまとめられた「21世紀型の消費者政策のあり方」は、消費者基本法の制定や公益通報者保護制度・消費者団体訴訟制度の実現など、多くの成果を残しました。

他方、その後消費者庁・消費者委員会の創設といった動きが進みました。現在振り返るに、「21世紀型消費者政策」の議論のエッセンスの継承は、十分な機会はなかったのではないでしょうか。

このたび、当時の検討に関わったメンバーなどで、議論の振り返りの場を持ちたいと考えます。

＜日時＞2018年5月17日（木） 14時20分～16時30分

＜会場＞主婦会館プラザエフ5F会議室（東京・四ツ谷）

＜参加費＞500円（資料代） 会員団体・賛助会員無料

＜プログラム＞

## 1. 講演

「21世紀型消費者政策」の概要ふりかえり（松本恒雄氏）

## 2. パネルディスカッション

「21世紀型消費者政策」の成果と残された課題

＜パネリスト＞

松本恒雄氏

（元・国民生活審議会委員、現・国民生活センター理事長）

加納克利氏（消費者庁参事官）

長田三紀氏

（全国地域婦人団体連絡協議会事務局長、内閣府消費者委員会委員）



裏面に必要事項をご記入の上、5月10日までにFAXでお申し込みください。



全国消団連行き (FAX03-5216-6036 電子メール [webmaster@shodanren.gr.jp](mailto:webmaster@shodanren.gr.jp))

消費者保護基本法制定50周年記念企画シンポジウム

## 「『21世紀型消費者政策』の成果と残された課題」

【日 時】 2018年5月17日(木) 14時20分～16時30分

【会 場】 主婦会館プラザエフ 5階会議室



### 《参加申込み用紙》

団体名	連絡先(TEL)

参加者名

